

首都圏キット協組■BCP研修

防災知識や進め方

【東京】首都圏キット利用協同組合（伊藤和夫理事長）は2月15日、BCP（事業継続計画）に関する研修会をビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」を活用して実施した。

講師は小野秀昭（運輸・物流研究室取締役フェロ―）、中田愛子（同代表取締役）、鳥井恭（オフィスSCM企画代表）の各氏。組合員の経営者、管理者ら32人が参加した。

永嶋功専務が「先週末は東北地方で大きな地震があったばかりで、近年は異常

気象による大型台風の襲来や豪雨、豪雪などが頻発し、BCPの重要性は一層高まっている」と強調。「トラック運送事業はいわゆるエックスシヤル業種で、事業を継続して輸送力を確保し、

サプライチェーン（供給網）を維持することが大きな命題。当協組はBCP研修を事業の柱にしており、本日の成果を事業に役立てていただきたい」と述べた。

研修は「防災とBCPの基礎知識」と「BCP策定の進め方」の2部構成で、2時間にわたり行われた。

（北原秀紀）